

道路ネットワークの機能強化について

【担当省庁】国土交通省

〔新たな広域道路交通計画の策定〕

- 新たな国の広域道路交通計画を策定し、重要物流道路及び広域的な代替路等を早期に追加指定するとともに、それらの道路の機能強化及び重点整備のため、必要な予算を確保いただきたい。

京都府・京都市共同提案

- 堀川通（国道1号）の交通円滑化等に向けた新たなバイパストンネルの可能性等の調査を進め、早期の計画策定をお願いしたい。

京都府・京都市共同提案

- 京都都市圏の交通課題（亀岡方面や大津方面）について、交通集中の緩和や災害時のリダンダンシー確保のため、具体化に向けたルート検討等の調査を進めていただきたい。

【現状・課題等】

- 多核連携型の国づくりや安定した物流の確保を可能とする速達性やアクセス性を確保するため、国土をフル稼働させる道路ネットワークの機能強化が必要
- 上記を勘案し、山陰近畿自動車道、国道163号、国道423号の重要物流道路の早期の追加指定が必要
- 災害時にも物流を支える広域的な代替路として考えられる国道162号、国道176号、国道312号等が現在指定されていないなど、早期の追加指定が必要
- 堀川通（国道1号）の慢性的な渋滞に対して、効果を検証したうえで、引き続きバイパス整備等の機能強化の検討が必要
- 亀岡方面、大津方面ともに、過去に高速道路と一般道の同時通行止めが発生しており、特に、国道9号（京都市～亀岡市）においては、平成30年7月豪雨時に京都縦貫自動車道及び国道9号の通行止めに加え、JR山陰本線の運転見合わせもあり、往来が不可能となった。
- 亀岡方面、大津方面ともに市街地において慢性的な渋滞が発生している。

京都府 の担当課	建設交通部 道路計画課 (075-414-5246)
-------------	----------------------------

■京都府域新広域道路交通計画

- ▶ 平成30年11月に設置した京都府将来道路ネットワーク検討委員会の議論等を踏まえ、京都府の将来に必要な広域道路ネットワーク、中長期的な道路整備の方向性等を示す「京都のみち 2040」を策定（令和元年12月）
- ▶ 地域の将来像を踏まえた広域的な道路交通の今後の方向性を定める「京都府域新広域道路交通ビジョン・計画」を「京都のみち 2040」を基に策定（令和3年3月）

